

主直日誌

4月 22日(日) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ さんふらわあ きりしま見学

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

今日は、神戸入港2日目でした。大阪南港に行く途中、神戸の街を歩きながら神戸海軍操練所の跡地や、商船三井ビルなど、海事の歴史に関わり深い所を見学しました。

電車を乗り継ぎながら大阪南港フェリーターミナルに停泊している、さんふらわあきりしまを見学しました。一般商船では甲板部、機関部、司厨部がありますが、フェリーにはさらに事務部という乗船客を対応する部署もありました。貨物船とは違い、船内はとても広く、客室やレストランなどの施設がとても充実していました。そのような施設があることで、客室を清掃する従業員や、ロビーで接客する従業員などがいて、まさしくホテルシップです。客室が多いため、トイレなどの排水設備も多くあります。そのため、機関室には一般商船よりも多くの機器があり、それらを管理、整備することは大変であると聞きました。やいづも漁船であるが故に多数の機器があり、日頃から忙しく、それらを管理している乗組員の姿からも、そのこと(大変さ)を察することが出来ます。客室が多く、自動車も多く運ぶため、機関室のスペースをできるだけ小さくするなど、設計に工夫がされていました。普段見ることの出来ないブリッジや、エンジンルーム、実際に勤めている船員さんの話を聞くことが出来て、とても貴重な経験となりました。また、三級海技士を取得すれば、職員(航海士・機関士)として採用できるともお聞きしました。それを聞き、三級海技士を必ず取得するぞという意識が強くなりました。ここで学んだことを今後の学習や、進路選択のときに生かしていきたいです。



本日は、「さんふらわあきりしま」の見学研修でした。



デッキと制御室の様子

